

登録コード	F3A58030	開講年度	2026			
授業科目	感性心理学（24F～）				担当教員	堀場 洋輔 他
英文授業名	Introduction to Kansei Psychology				副担当	上條 正義
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・1時限	対象学生
講義室	繊維1 0 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 4 Fカリ・先進感性					
	【2023年度以降カリ対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力				ヒトの心理的特性や心理計測の方法を習得し、工学分野に応用できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	授業の前半では、人間の感覚や感性を数値化する際に不可欠な「官能評価法」について、演習を交えながら基本概念を習得する。また、効率的に実験を行ない、有益な情報を抽出する際に不可欠な「実験計画法」についても解説する。授業の後半では、基本的な人間の心理特性である「視覚や注意」、さらに人間の感性を理解する上で極めて重要な「運動、認知、記憶」などのしくみについて学ぶ。					
(5)授業計画	この授業は1コマ100分で実施する。 1.精神物理学（弁別閾、ウェーバーフェヒナーの法則、スチーブンスのべき法則） 2.数量化尺度（名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比率尺度） 3.官能評価法1（2点識別法、3点識別法、配偶法、振分け法） 4.官能評価法2（引き抜き法、選択法、順位法、格付法） 5.官能評価法3（採点法、マグニチュード推定法、一対比較法） 6.ストレスの評価法（自覚症しらべ、NASA-TLX など） 7.気分の評価法（POMSなど） （第1～7回担当：上條） 8.実験計画法1（乱塊法と分割法） 9.実験計画法2（分散分析） 10.知覚の恒常性と補完 11.錯視（種類とメカニズム） 12.知覚（パターン認識、ボトムアップ・トップダウン処理） 13.注意（注意の諸特性、注意と知覚の関係） 14.記憶（短期記憶と長期記憶、忘却） （第8～14回担当：堀場）					
(6)成績評価の方法	期末試験の得点によって評価する。					
(7)成績評価の基準	秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない					
(8)事前事後学習の内容	次回の範囲について予告するので、事前に予習しておくこと。なお、この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要である。					
(9)履修上の注意	心理学の学習において統計学の知識は不可欠である。したがって、「応用統計学」や「多変量解析」の内容を十分に理解しておくことが望ましい。					
(10)質問,相談への対応	授業に関する質問・相談は、基本的には授業時間中あるいは授業終了後に対応する。授業時間以外は、担当教員へメールにて問い合わせること。担当教員のアドレスは以下の通り。 上條：kami jo@ 堀場：hori ba@ （@の後はshinshu-u.ac.jp）					
(11)学生へのメッセージ	卒業研究での実験やデータ解析などに役立つ手法を多数紹介します。 また、心理学を通して人間の感性について考えてみましょう。					
(12)その他						
【教科書】	指定しない					
【参考書】	指定しない					